

## ●天海祐希さんが、心筋梗塞で入院されたのはどうしてなのでしょう？



2013年5月6日、軽度の心筋梗塞で天海祐希さんが入院されました。自覚症状はなく、終演後に「体がだるい」と訴え病院へ向かったそうです。

心筋梗塞とは、心臓自体に栄養・酸素を送る血管(冠血管)が詰まってしまう病気です。通常は、糖尿病や高血圧、脂質異常症(コレステロール・中性脂肪)、肥満、タバコなどの生活習慣の悪化により、血管が硬く(動脈硬化)なり引き起こされやすくなります。ですので、年齢が高くなるにつれて(血管が硬くなる生活習慣も積み重ねられるため)発症しやすくなります。

天海さんは、45歳です、まだまだ若いのに何故でしょう…。様々な意見が言われていますが、過労やストレス、そして特に「糖質ダイエット」などの食生活が大きな要因と言われています。糖質をカットしていく偏食は、動脈硬化を促進し死亡率を高めるとのデータもあります。食事の乱れが大きな要因の一つだと思われます。

また、今年は火運不及(かうんふきゅう)の年です。心臓や循環器系が1年を通して弱まり無理が出やすい年です。そして、ちょうど5/5は立夏で暦的には夏に入った頃です。夏は「心臓・循環器の季節」です。それまでの無理が、出やすい時期に出た、と言えます。こういう時こそ、すぐに「ツルが薬局の日水清心丸」を飲ませてあげて、心臓や血管への無理を和らげ、塞りを通じてめぐりを良くしてあげないといけません。

## ●歯ぐきが腫れて完治するのに日数がかかるのは、どうしてですか？

毎日食べる食事の流れは、まず口(歯ぐき)に入れることから始まります。口から食道を通過して胃、十二指腸、小腸へそして吸収され肝臓で合成・代謝されています。そして大腸で便として、腎臓や膀胱を通して尿として体外へ排出されています。たくさんの内臓の働きが関与する中、歯ぐき(口の中)は、言わば「内臓の入り口」に当たります。

体を切って内臓の状態を直接見ることはできませんが、内臓の入り口である歯ぐきに体の中の状態が反映されます。つまり、歯ぐきはその人の内臓、根元の状態が現れてくる場所ということにもなります。歯ぐきに症状が現れたという事は、体の根元から調子が崩れていると考えなければなりません。

ですので体全体の調子が回復し、内臓根元の原因を良くしてあげないと、なかなか歯ぐきの症状は完治しません。よく起こされる方は、普段からの養生や補い(体力向上、生活習慣の改善など)をしていくことが大切になります。

